

英国EU離脱の余波 – 週明けの日本株は反騰 –

＜週明けの日本株は反騰＞

先週末の英国の国民投票の予想外の結果を受けて、24日の日本株は前日比▲1,286円（▲7.9%）と大きく下落しましたが、週明けの日本株市場は前日比+357円（+2.4%）と反騰しました。日本の株式市場は一応の落ち着きを取り戻しています。

金曜日の各国の株式市場も大きく下落しましたが、日本の下落率が相対的に大きかったことや、東京市場が開く前に政府・日銀が緊急会合を実施したことを受けて、日本株は反騰しました。

また、26日に行われたスペインの総選挙でEU緊縮策に反対する急進左派のポデモス党が議席を伸ばせなかったことから、ブレグジット（英国のEU離脱）の流れがEU各国に広がる懸念を薄めています。

＜今後の見通し＞

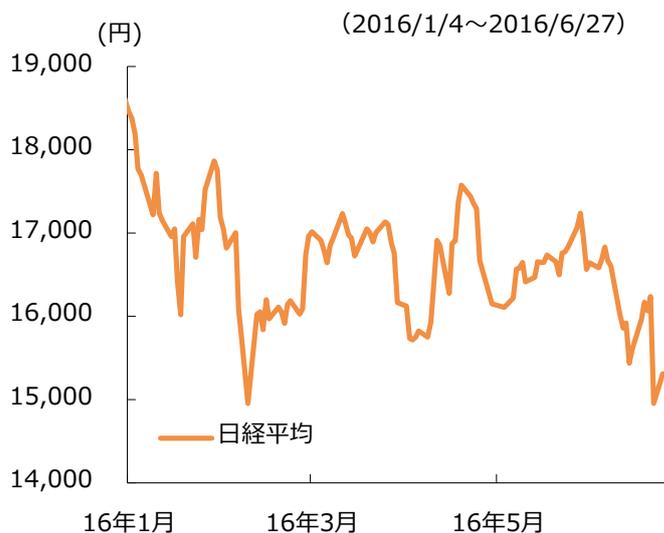
英国では国民投票の結果を受けて、スコットランドで再び独立の機運が高まっています。また、再投票を求める動きもあるなど英国内の政治情勢は混迷が深まると見込まれます。

一方で、英国での状況を見て、EU離脱派の多い国では逆に政治の安定を求める動きもうかがえます。26日のスペインの選挙結果は正にこの動きであると言えます。

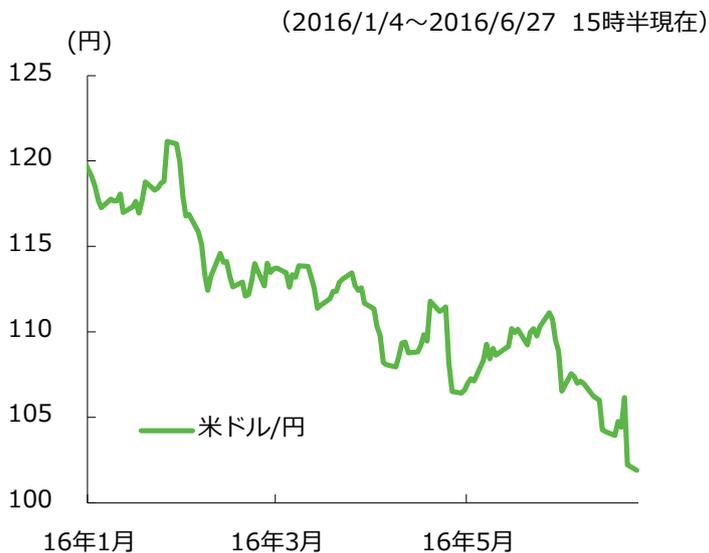
ブレグジットが日本経済に与える影響は未知数ですが、政府・日銀は金融市場安定のため企業向けの資金供給を潤沢にし、流動性確保に万全を期すと表明しています。さらにこの秋に行われる経済対策を当初見込みよりも多い10兆円規模にするとの話もでており、日本経済の減速リスクに備えます。

しばらく不安定な市場環境が続くと予想されますが、各国の政府・中央銀行が市場安定に向けて協調する動きを見せており、金融市場は徐々に落ち着きを取り戻すものと見込まれます。

＜日経平均の推移＞



＜米ドル/円の推移＞



出所：Bloomberg

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.24200%（但し、最低 2,700 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会